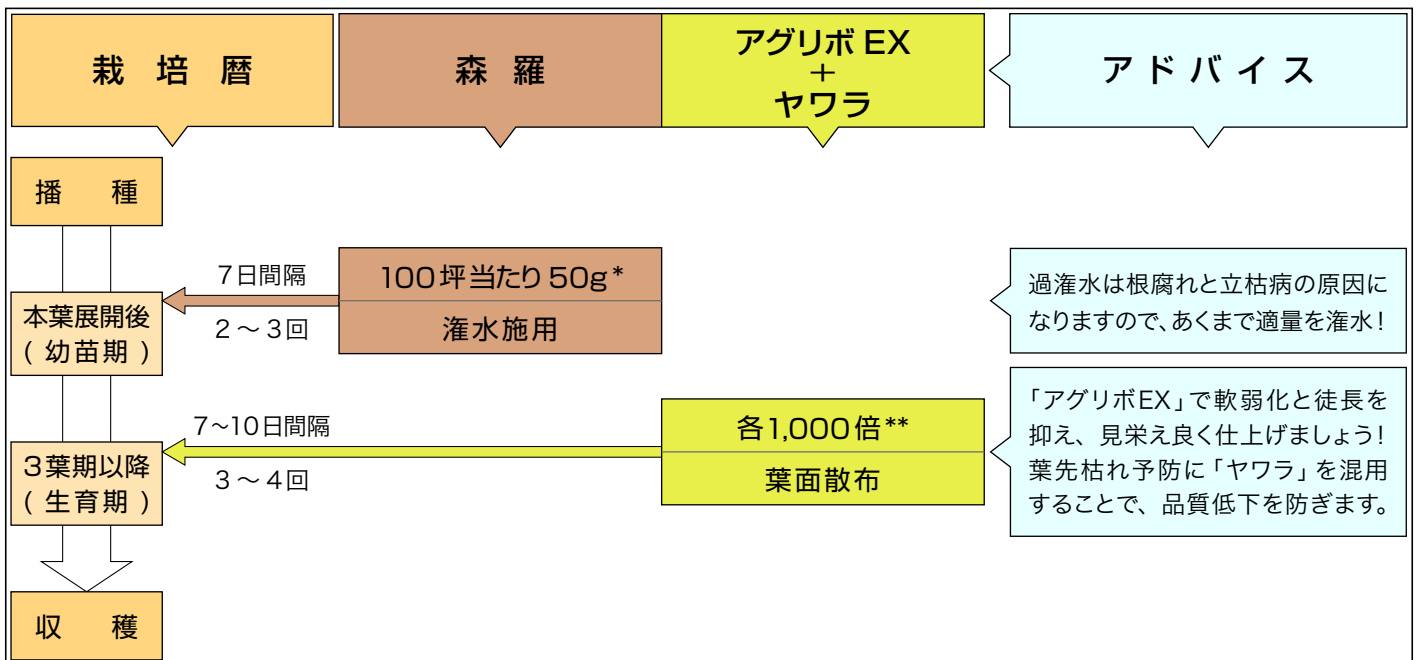


まずは「根作り」。次いで均一な生育を。

小ねぎ、特に直播栽培のポイントは、“いかに生育と収穫期を揃え良品率を上げるか”にあります。そのためには、まず生育初期に根量（根力 ねぎから）を確保して、後半の生育を安定させることが重要になります。



* または、100m² 当たり 15g

** 散布液が付着しにくい品種の場合は、「ヤワラ」の希釈倍率は 500 倍に。

小ねぎは特に育苗重視！

根深ねぎに比べて生育期間の短い小ねぎは、より育苗期の根張りと徒長抑制が重要になります。りん酸の肥効を高めるためにも、育苗から「アグリボEX」を使用して、根張りの良い苗作りを！

葉先枯れ対策に、ヤワラ！

乾燥や高温などにより、根からのカルシウム吸収が困難になり発生します。それからでは手遅れなので、小さい時期から「ヤワラ」を使って予防しましょう。（500～1,000倍希釈で、7～10日おきの散布）

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328